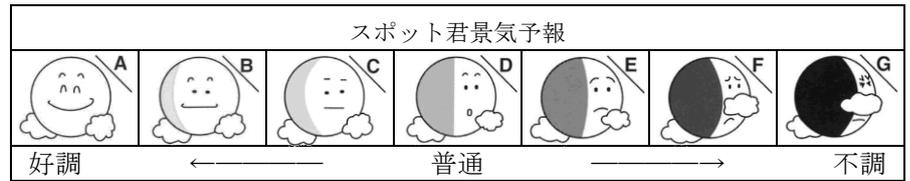


2. 目黒区内中小企業の景況（令和5年4～6月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△7.9で前期比6.4ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は5.5で6.5ポイント増と増加に転じ、収益は△5.0で11.0ポイント増と大幅に減益幅が縮小し、資金繰りは△13.4で6.8ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況1.4ポイント減の△9.3と今期同様の厳しさが続く見込み。

卸売業



業況は△19.8で前期比28.1ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は6.8で49.5ポイント増と増加に転じ、収益は△10.2で22.1ポイント増と特に大きく改善し、資金繰りは△16.8で4.2ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は7.1ポイント増の△12.7とかなり向上く見込み。

小売業



業況は0.5で前期比10.2ポイント増と好転した。売上額は5.3で2.3ポイント増とわずかに増加幅が拡大し、収益は△9.6で8.0ポイント減と大きく低迷し、資金繰りは△0.3で1.9ポイント増と多少窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は9.3ポイント減の△8.8と悪化に転じる見込み。

サービス業



業況は△17.6で前期比10.5ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。売上額は0.5で15.5ポイント増と増加に転じ、収益は△9.1で10.7ポイント増と大幅に減益幅が縮小し、資金繰りは△12.7で1.4ポイント減と前期同様の厳しさとなった。来期の見通しについては、業況は3.3ポイント増の△14.3と厳しさが幾分和らぐ見込み。

建設業



業況は15.3で前期比22.1ポイント増と好転した。売上額は11.3で10.8ポイント増とかなり増加幅が拡大し、収益は△1.1で5.7ポイント増と大きく減益幅が縮小し、資金繰りは6.4で9.4ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は9.7ポイント減の5.6と好調感が大幅に後退する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

